

將軍直轄  
の兵

兵卒の年  
齡及給料

と爲るも實際約二割の缺員あるを常とす。是に於て眞の實力は  
步隊五千零四十人 馬隊一千二百四十騎  
と算せば、恐くば大差なかるべし。

右の内、烏魯木齊撫標は新式軍隊にして、略其の範を我國に取りしものなるも、其  
他は皆綠營兵即ち舊式軍隊にして、共に巡撫の管轄する所とす。此外、伊犁將軍の  
直轄に係るもの、綠營步隊一營(實員約百五十人)馬隊四旗(實員約二百騎)滿、蒙八旗(約二千)あるに過ぎ  
ず。尙ほ外に在郷して農に従事する屯田兵の如きものと、山野に游牧する哈薩克  
の如きものと有るも、固より常備軍に算入すべきに非るなり(毎年一度將軍自ら人  
員點呼を行ふ外、別に  
訓練を爲さず)而して將軍の有する砲は、大小合せて十二門ありと云ふ。

兵卒の年齢は二十五六歳より、五十歳内外に至る間に有りて、老兵を多しとす。  
元來新疆に住する漢人は、其數甚だ寡少にして、且つ其の七八分は商業に従事する  
が故に、補充は勢ひ口内各省より募集せざるべからず、然せんには多額の費用を要  
し、募兵の困難なるに因り、老兵從て多きを加ふるならん。兵卒中文字を解する者  
は百分の一、二に過ぎず、甚しきは市井の無賴漢を集合せしに非らずやと疑はるゝ